

北河内 自然愛好会 会報

2016年4月10日 №.96
北河内自然愛好会発行
事務局：大東市野崎 3-7-7
西畑敬一 方

ホームページアドレス：<http://www.cc-net.or.jp/~ja3aeh/3shizen/3-3kitakawati.htm>

北河内自然愛好会 2016年総会 2016年1月31日(日) 午後2時～4時30分 交野市

◎総会議事(14:00～) ()内は担当者・敬称略)

1. 開会宣言
2. 西畑敬一会長挨拶
3. 2015年度行事報告(太田 理)
4. 2015年度会計報告(稲原良三)
5. 2016年度行事計画(太田 理)
6. 『北河内の植物目録—補遺』について(西畑敬一)
7. 2016年度予算案(稲原良三)
7. 『北河内の植物目録—補遺』について(西畑敬一)
8. その他
9. 会長・会計・運営委員選出・紹介 会長：西畑敬一、会計：稲原良三、運営委員：稲原ヒサエ、太田理、岡田雅彦(2月28日ご逝去)、北川ちえこ、木村雅行、平 研、田中光彦、中町荅子、中山千代美、西村寿雄、鈴木永子(新)、高見君江(新)
10. 会員発表 「妙見の神々」平 研氏 「愛好会『北河内植物目録—補遺』から」田中光彦氏 「飯盛城についての報告」太田 理
11. 閉会宣言

◎2015年度行事報告()内は担当者・敬称略)

- 1月 1/31(土)2015年総会 2月 363回例会 2/15「鶴見緑地で野鳥観察」大阪市(平 研) 3月第364回例会 3/21「究極の生き残り法・野草を摘んで食す」四條畷市(太田理) 4月 365回例会 4/12「里山一斉調査・下田原の里山」四條畷市(太田理) 5月 366回例会 5/6「春の金剛山」千早赤坂村(田中光彦) 6月 367回例会 6/12「夜のミニ観察会・交野南星台のホタルを見に行こう」交野市(平 研・稲原良三) 7月 368回例会 7/11「ミニ観察会・深北緑地の自然観察」大東市(西畑敬一) 8月休会 9月 369回例会 9/22「奈良市佐紀町 古墳群と植物観察」奈良市(木村雅行) 10月 370回例会 10/10「キノコの観察会」四條畷市(西畑敬一) 11月 371回例会 11/29「鞍馬と貴船の石の観察会」京都市(西村寿雄) 11/28 運営委員会

◎2016年度例会年間予定()内は担当者・敬称略) 1月 2016年総会 1/31 14:00～16:30

- 2月 372回例会 2/14「鶴見緑地野鳥観察」(平 研)
3月 373回例会 3/26「野草を食べる—山田池公園」(西畑敬一、稲原良三)
4月 374回例会 4/10(日) 里山一斉調査・下田原の里山(太田 理)
5月 375回例会 深北緑地植物観察(西畑敬一)
6月 376回例会 飯盛山の植物観察と飯盛城(西畑敬一、太田 理)
7月 377回例会 尊延寺の植物観察(田中光彦) 8月 休会
9月 378回例会 キノコの観察会または草木染め(田中光彦、北川ちえこ)
10月 379回例会 「木の実・草の実の観察 私市方面」(木村雅行)
11月 380回例会 「妙見の地層観察」交野市(西村寿雄、平 研) 12月 運営委員会

◎参加者：稲原ヒサエ、稲原良三、太田理、岡本美恵子、北川ちえこ、木村雅行、久保幸子、鈴木永子、平 研、田中光彦、長島照文、中原利子、西畑敬一、古沢千恵、松下昭、山田晃、山田美鈴、山田良之(以上18名) ◎懇親会参加者7名

第372回例会「鶴見緑地野鳥観察」雨天中止

2016年2月14日(日)

リスト：○美味しい、△普通、×まずい)

天ぷらは味や香りが分かりにくく、また、ゆがいたものは調味料に左右され、本質的な味が分かりにくかったです。味付けは、各自が好きな調味料を選び、好みに合わせて付けると言うやり方でもいいのではないのでしょうか。

(藤阪駅から山田池公園までに採集した植物)

△アメリカオニアザミ (天ぷら) 気をつけて食べないとトゲが舌に刺さります。北川は幸運にもそのようなことは無かったのですが、少し苦味がありました。△ヒメヒレアザミ (天ぷら) アメリカオニアザミと同。△タンポポ (天ぷら) ほとんどがカンサイタンポポで花を揚げました。クセもなく甘味があり意外と美味しかったです。○コオニタビラコ (天ぷら) クセがなく無味でした。△スカシタゴボウ (天ぷら) 少し苦味がありました。△スイバ (天ぷら) 酸味が強かったです嫌いな味ではありませんでした。○ツクシ (天ぷら) 無味でかんだ食感が少しありました。△ホタルブクロ (天ぷら) 味は分からなかったです。少し採集はしましたがほとんどがどなたかが持参した物でした。

△セイヨウカラシナ (ゴマあえ) カラシナ独特の辛味は美味しかったです。ため池の土手にたくさん生え花もきれいでした。摘み菜も楽しかったです。ノミノフスマ (天ぷら) 味は分からなかったです。○ヤブカンゾウ (酢みそ、マヨネーズ) どちらの味もヤブカンゾウの食感によくあい美味しかったです。△カラスノエンドウ (甘酢、天つゆ、天ぷら) 元々クセが無いので、調味料の味でした。△オオカワヂシャ (ゴマ、マヨネーズ) 初めて食べました。少し苦味ありましたが食べやすい味でした。○クレソン (塩コショウ、マヨネーズ) 塩味が少しからく△、マヨネーズは○。ハコベ (酢みそ、ゴマ、マヨネーズ) ゆがきが長かったのか、ハコベ独特の臭いがまるやかになっていたの、初めての方には食べやすかったのでは。○ノビル (球根：みりん醤油の照焼き風、酢みそ、葉：酢みそ) 照焼き風は初めて食べましたが、ノビルのクセとよくあい美味しかったです。○ヨモギ (天ぷら、ダンゴ (きなこ味、みたらし味)) 天ぷらはヨモギの香りが無くなり△、ダンゴはお腹が空いていることもありとても美味しかったです○。○レンゲ (酢みそ、マヨネーズ、天ぷら) 花が入っていたのかほんのり苦味があり美味しかったです。全て○。

(他の場所で採集された植物)

△ヤブタビラコ (天ぷら) ...味は分かりませんでした。シュンラン (天ぷら) ...量が少なかったの、食べていません。△スイカズラ (天ぷら) ...天ぷらでもかなり苦い味でした。多くは食べられません。やや×コブシ (天ぷら) ...何年か前に初めて食べましたがメンソレの味だったと強烈に覚えていました。それに比べると、今回は少し味薄だったと思いました。たいがいものはそれなりに美味しいですが、コブシはまだまだ修業が足りません。△セリ (ゴマ、天ぷら) ...セリの味があまりしませんでした。△フキノトウ (天ぷら) ...フキノトウ独特の香りと苦味を感じました。△ミツバ (ゴマ、天ぷら) ...どちらも、ミツバの香りはありませんでした。○ツバキ (お寿司) ...西畑さんの奥さまからの差し入れでした。見た目もきれいで、感激しました。

その他、採集はしましたが量が少なかったり、時間がなかったりの理由で調理しなかった植物：タネツケバナ、ブタナ、スマレ、オオバコ、オニノゲシ、マユミ、ノミノツヅリ、スズメノエンドウ、ギシギシ、ナズナ。

§§感想：例年と違い山田池公園での野草を食べる会だった。猫も多い公園なのでどんなものを採集するのだろうか興味深々、戦々恐々でした。

公園サバイバル術かと思いきや、そうではなくてちゃんと野辺の道がリサーチされていました。水路には手つかずの新鮮なセリも見つけてシジミの殻もそこかしこにあるような自然度豊かな環境でした。いつもながらベテラン女性会員のみなさんの下ごしらえから調理までの手際の良さに脱帽です。フライパン遣いの木村さんのポッケからは調味料がドラえもんのポケット並みに出てきていました。2度漬け禁止の天つゆまで提供されて本格天ぷらの賞味となりました。ヨモギ団子のコネコネも鮮やかなもので黄粉とミタランの両方食べられるという贅沢。色鮮やかな西畑会長のツバキの握り寿司。一見マグロのお寿司と見紛うばかりでした。熱心に野帳に野草の名前と調理法をきれいな字で記録している稲原さんのお孫さんの姿は微笑ましいものでした。将来が楽しみです。ともあれ、それもこれも稲原さんをはじめ先発隊のみなさんのセッティングと事前の準備があればこそでした。本当にお世話になりました。ありがとうございました。miga8さんのアップされた写真に触発されて思わず私も感想をひとことふたこと。(長島照文 ML3/27 より)

◎参加者：栗田泰子、稲原ヒサエ、稲原良三、今田順子、太田理、大津由紀子、奥田久美子、北川ちえこ、北野謙、北野政子、木村雅行、久保幸子、鈴木永子、平 研、田中光彦、東郷弘子、長島照文、中町芥子、西畑敬一、発ひとみ、吹田さん家族(弘一、章恵、詩子、琴子)、楠本幸子 (以上 25 名)

第 374 回例会「下田原の里山・里山一斉調査」

2016 年 4 月 10 日 (日)

太田 理

気温 20℃、少々曇り空ながら、暑くもなく丁度いい気候。「田原の里山」コースの調査は今年 22 年目、参加者が少なくなってきた少々マンネリか、定点観察ということも必要とも思います。

集合場所の飯盛霊園の桜が満開。国道 163 号線の工事で霊園前は様変わり。いつもならすぐ休耕田の方に入ってツクシ摘みに喚声を上げるところが、それができなくなって田原ニュータウンの方から尾根道に入りました。造成地にカンサイタンポポやカラスノエンドウとスズメノエンドウの間のカスマグサ。尾根道に入るところでアケビの花を見、程なくして、いつものミツバチが蜜を集める巣箱が置いてあるところでは蜜蠟が無造作に置いてある(捨てている?)。「もったいないなあ」「ほしいなあ」と言う声も…。ブーンと虫が飛んでいた。マルハナバチ?と言っていると、虫に詳しい高本さんがキムネクマバチと教えてくれた。テリトリーを守るためのホバリングのようです。下見では見つからなかった“エビフライ”を保全協会の前田さんが執念で見つけたとのこと、リスの確認ができました。モグラの通り穴も地表近くで見つかりました。

薬尾寺池に到着。釣り人が 2、3 人。土手に直径 20 センチ程のキランソウ、別名“地獄の釜の蓋”とはこのことかと納得しました。ツクシもあちこちにあってツクシ採りに勤しむ人も。そしてその池の下、道端横の水溜りにカスミサンショウウオが…と思って覗いて見ると卵のうが 3 つ、4 つ。去年も少なかった。環境が悪化しているのかと思わざるを得ません。キツネも確認できませんでした。

道端の柵に小さく可愛いナナフシの子どもがエッサカ、ホイサカと歩いていました。あちこちにいます。昼食時に高本さん曰く「これとさっき見たのと違うのが分かりますか?」と。ナナフシってどれも皆同じ?!と思っていたのが、触角の違いでエダナナフシと区別すると…。さらに「ナナフシという名はありません」と。え〜っ、違うの!?!正確にはナナフシモドキで、その“モドキ”の意味も擬態するところから、だそうです。

ショウジョウバカマがひっそりと咲いていました。鈴木さんが葉の先から芽を出しているのをみつけ、写真に撮りました。帰ってネットで調べてみると、おもしろいことが分かりました。その繁殖特性は種子繁殖と栄養繁殖とがあって、葉の先に栄養繁殖体が形成される。実生ができないような厳しい環境で

も（この筆者は高山での状況を述べているので、田原ではどうかな？とは思いますが）確実に子孫を残す戦略だと。そして大半を栄養繁殖に依存しているのは環境の激変（温暖化など）に対応できるようにとのことようです。興味のある方は「高山植物ものがたり」→花の生態で見てください。下記アドレス：<http://www.geocities.jp/alplantsenvi/alpine-plants/syoujiyoubakama.html>

12：30頃堂尾池に着いてお昼ご飯を食べました。今回は寝屋川市自然を学ぶ会から山田さんを始め5名の方が参加してくれて、おかずや桜おにぎりの配給や食後の本格的なドリップコーヒーまでご馳走になりました。また、地元の田原小の先生や私と同じ町内会の方も参加してくれました。皆さま、お疲れさま、ありがとうございました。まとめの会で確認したこと…

◎イノシシ、リス、ノウサギ、モグラ類、ネズミ類 ◎ウグイス、カラス、カワラヒワ、キジバト、コゲラ、コジュケイ、シジュウカラ、スズメ、ツグミ、ヒヨドリ、メジロ、センダイムシクイ ◎カスミサンショウウオ、ニホンアカガエル、カナヘビ、キチョウ、モンシロチョウ、（キムネ）クマバチ、ミツバチ、ピロードツリアブ、キリギリス（子）、ナナフシモドキ（子）、エダナナフシ（子）など
◎カキドオシ、ケキツネノボタン、キュウリグサ、キランソウ、ゲンゲ、シュンラン、ショウジョウバカマ、タネツケバナ、チゴユリ、ノビル、ハハコグサ、ホトケノザ、ムラサキケマン、ムラサキサギゴケ、サギゴケ（白）、ヤエムグラ、カンサイタンポポ、セイヨウタンポポ、ヒメオドリコソウ、オオバコ、ヘラオオバコ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、スマレ、タチツボスマレ、ナガバナタチツボスマレ、ニオイタチツボスマレ、ツボスマレ、シハイスミレ、キクバスマレ、ツクバキンモンソウ（ここまでほとんど花）、イチヤクソウ、コ克蘭、ミヤマウズラ ◎樹木略
◎参加者：太田 理、久保幸子、鈴木永子、（寝屋川から）石川信子、勝 康雄、高本憲二、寺西民子、山田 晃（全体の参加者12名）

§§追悼文「日本画の大家、岡田雅彦さん逝く」

西畑敬一

本会の会員で運営委員の一員でもあった岡田雅彦さんが去る2月28日逝去されました。岡田さんとの出会いは私の記憶では大阪自然環境保全協会主催の動物調査（現里山一斉調査）の折ではなかったかと思われま。その時の印象は、すごく物静かで控えめな人のように見えてましたが自然に対する観察力が鋭い方だと思った。調査の時も参加者が先きを進んで行くのを見ながらゆっくりと歩かれ周囲を気にかけてながら観察をされていた。このことは愛好会の例会でも度々見られ、いつも最後尾を歩いておられた。お子さんが小学生のころには時々連れて来られ観察会を楽しんでおられた。彼が東大阪の中学校の美術の先生で著名な日本画の大家だとは知るよしもなく、後になって愛好会に入会された太田さんよりお聞きして初めて知った次第である。以前、愛好会の有志で度々芦生の森に出かけた時も原生林の中に立つカツラやその他の木々に心を動かされ黙々とスケッチをされていたことを思い出します。また、個人的にも度々、現地を訪れ、芦生の森の自然と壮大さを画にされていた。岡田さんの絵にはいつも小さな生き物が描かれ絵の中に自然の営みを感じさせられ見る人の心に大きな感動を与えてくれました。

体調をくずされ、闘病生活を送りながらも絵に対する情熱は衰えることなく絵筆をにぎられ毎年、三人展や個展を開かれ絵に対するあくなき情熱と信念を発揮されたことは尊敬の念を禁じ得ません。愛好会の例会においても版画や年賀状作りの指導をご夫妻でしていただいたことや会報の挿絵を描いていただいたことも思い出に残ります。画家としてこれから円熟味を増した絵を拝見出来ると思っていた矢先の訃報に接し残念でなりません。

ここに、生前、愛好会に対する、ご支援とご協力に感謝すると共に、在りし日の姿を思い浮かべ追悼の言葉とします。 合掌

《会員交流コーナー》

§§<犬も歩けば>午後、日が照っているので星田新池からなすび谷を上り五段の滝へ、そして星田山の尾根伝いに南星台のバス停へと歩きました。険しい尾根を歩きました。星田新池では、マガモ、ホシハジロ、キンクロなどの群れが57羽、この冬ずっと居続けているが、水草のないこの池で、何を食べているのでしょうか。なすび谷ではフユイチゴが冬の陽を浴びて己を見せびらかせていました。尾根ではまだ新しいイノシシのオトシモノが冬の陽を浴びていました。(1/14・平 研)

§§<教えて>10日、鶴見緑地の日本庭園近辺を調査していきまして、分からない樹木やシダがありました。もし分かるのであれば教えて下さい。10の赤い実のついた樹木は日本庭園・むらさき亭入口の前に植栽されていまして。15、16のシダは同じものですが、生えている位置が違いました。16には別種(または孢子葉?)のシダも写っています。アイルランド庭園に生えていました。17もアイルランド庭園ですが、低木で葉の先が針のように尖り、実際さわってもとても痛かったです。葉の大きさはアベリア(ハナツクバネウ ツギ)より少し大きいくらい。(1/14・北川ちえこ)

§§<回答>お尋ねの植物、10の赤い実をつけているのは、ミズキ科のサンシュユ(*Comus officinalis*)です。17はユリ科のナギイカダ(*Ruscus aculeatus* L.)、です。これも10月頃に葉に中央付近に赤い実をつけます。(1/14・西畑) イチョウシダではないですか。(1/15・天野史郎)

§§<返信>早速のお返事有り難うございました。イチョウシダはともかく、サンシュユやナギイカダは全く知らないわけではないのに、国際庭園にあったと言うだけで、思い出しもしませんでした。有り難うございました。(1/15・北川)

§§<イカルの嘴>昨日の糺の森のイカルの画像です。イカルやシメが堅い木の実を割って中身を食べられる訳がこの画像で読み取れます。1.嘴が太くて短い=ペンチのように強い力が出る。2.噛み合わせが湾曲していて(ブリキ鋏の形)、固い殻を切り裂きながら割ることができる。この画像でも、そのブリキ鋏で切り割っているのが見えます。(1/18・平)

§§<バン若鳥>天野川を歩きました。何時ものところにクイナがいた、とカメラに収めて、帰ってUPして見たら、バンの若鳥でした。(1/22・平)

§§<教えて>1月17日に平野(ひらの)の調査に行きましたが、杭全神社横の平野川で、分からない植物がありました。川そばには近寄れませんでしたので、上から撮った写真で分かりにくいかもしれませんが分かるようでしたら教えて下さい。よろしくお願い致します。1.セイバンモロコシのようなイネ科は川沿いにずっとありました。1-2.は穂ばかりで別のものかもしれません。2.はタネツケバナに見えるのですが…。横のイネ科も何か分かりません。3,4.は同種で色違いだと思いますが何タデでしょうか。5.は葉が全くなく茎だけで木本のようにしっかりしていて、一つ実を割りましたがナス科だと思います。ワルナスビでは…。(2/3・北川)

§§<教えて>写真はトキンソウでしょうか?トキンソウを見たのはかなり昔のことで、しかも花期でした。全体の感じがこんな雰囲気だったような気がしまして。鶴見緑地でみつけました。花が咲けば分かるでしょうが、それまでに刈られてしまうかもしれません。よろしくお願い致します。(2/7・北川)

§§<回答>おたずねの植物はキヌゲチチコグサだと思われます。ちなみに、日本帰化植物写真図鑑1巻のP.361に記載があります。ご確認ください。(2/9・西畑敬一)

§§<回答>画像からオオクサキビとオオイヌタデではないかと、推察します。ご確認をお願いします。最後のものについては判別しかねます。(2/9・西畑)

§§<鳥情報>一昨日の土曜にトラツグミが鶴見新山北側で確認されています。また、上空ですがオオタカやハイタカが見られたそうです。(2/8・北川)

§§<返信>図鑑は持っていないのですが、ネット検索でヒットしたものを調べましたら、ほぼ同じでした。花の咲く時期まであれば自分の目で確かめます。有り難うございました。(2/9・北川)

§§<鶴見緑地—花>寒い日に、春の兆しは嬉しいですね。誰もそうなんでしょう、咲き始めた梅の下にはカメラを構える人が多かったです。(2/15・平)

§§<お知らせ>私が所属しています大阪市エコボランティアで、大野川緑陰道～矢倉海岸まで調査します。お時間がありましたら参加して下さい。前は 2009 年 11 月 15 日に調査しています。矢倉海岸が公園として整備されて初めての調査でしたが、ハマヒルガオ、ハマエンドウ、ハマボウなどの海浜植物が植栽されていました。初めて見た植物にオヒゲシバがありましたが、何処に生えていたのかももう記憶にありませんが、海岸上の空き地だったと思います。7 年前ですので、もっと色々な植物が増えているかもしれません。知らない植物が多いので教えていただけたらうれしいです。よろしく願い致します。(日程・略) (3/10・北川)

§§<お知らせ>3 月 13 日(日)には、私市の星の里いわふねで「環境フェスタ in 交野」という催しがあります。チラシを見ると、「マイバッグ・マイ箸をご持参ください」とあります。無料で食べて、お土産があるみたいです。その連動企画として市大植物園で「私たちが住んでいる地域の絶滅危惧植物」特別展示と、特別案内があります。詳しくは添付ファイルをご覧ください。(ファイル・略) (3/11・田中光彦)

§§<キクザキイチゲなど>今、市大植物園ではミスミソウやキクザキイチゲが満開です。キクバオウレンはもう実になっていました。カタクリも 13 日頃には咲いていると思います。(先日もうすぐ咲きそうなたつぼみでした)。今年は早いようです。(3/11・田中)

§§<天野川・鳥>天野川を歩きました。コサギが盛んにドジョウ掬いをしていました。それを見ながら思いました。なんでコサギの足指は黄色いのか、ダイサギやアオサギの足指は黄色くないのに。コサギは黄色くなければならない理由は何か。「草の陰から獲物を追い出すには黄色はよく目立ち、効果大である」。ダイサギ、アオサギはドジョウ掬いはしないから、黄色くする必要はない、との結論に達しました。でも、どのような過程を経てこのように進化させてきたのでしょうか。面白いですね。ハクセキレイが、長い時間、3 m ぐらいの距離で私とお見合い。見ているうちに足指が太いのに気づきました。メジロなどと比べたら足指は太くて短いです。木に止まらず、地上や石の上を走り回るからでしょうね。どんな鳥でも、もっとじっくり見なければ・・・と反省させられました。(3/11・平)

§§<アマナ>昨日、田原のアマナを観察にいつてきました。今が最盛期できれいに咲いていました。ついでに、カスミサンショウウオの産卵状態を見ようといったのですが残念ながら産卵の気配もなくからぶりにおわりました。今年も無事産卵してくれることを期待しましょう。(3/12・西畑)

§§<庭にシロハラ>この冬から毎日、庭に来てくれているこのシロハラ、私の顔を覚えたのか、すぐそばでお見合いするようになりました。「もっとおいしいものを食べせ」と云っているのか「毎日ありがとう」と云っているのか……。でも、お別れはもうすぐ、明日から量を増やしましょう。(3/12・平)

§§<カルガモとカタクリ>1.今日、かあちゃんのリハビリ時間待ちの間、天野川を歩きました。カルガモ番いらしきものが泳いでいました。どちらが♂、♀でしょうか。2.昨日、植物園にカタクリを写しに行きました。まだ少し早かったようで、つぼみが多く、寂しかったです。(3/18・平)

§§<教えて>13 日、大野川緑陰道で種名のわからないイネ科を見つけました。カモジグサの仲間のような気がするのですが。私なりに調べたのですがギブアップです。名前がわかる方教えていただけないでしょうか。よろしく願い致します。(3/18・北川)

§§<天野川—花>天野川の緑道は花盛りでした。1.サクラとユキヤナギが大きな顔をして我が春を咲き

誇り、その根元には、小さなヒメオドリコソウとホトケノザが春の陽を浴びて、己が春を小さく咲いていました。2.ケヤキの剥がれかかった樹皮をはがしてみたら、大きなカメムシ（キマダラカメムシ）がいました。動かないのでそっと触ってみたら、物憂い動作で動きかけて止まり、そのまま動かなくなってしまいました。まだ眠り足りないのでしょうかね。ゴメンね。（3/25・平）

§§<カスミサンショウウオ>今日、薬尾寺池のカスミサンショウウオの産卵を確認に行ってきました。今年は、今日現在1つの卵塊しか確認できませんでした。年々産卵の数が減ってきているように思います。成体の生育環境が悪化しているのか個体数の減少なのか原因がわかりませんが、生態系の危機が懸念されます。早急の対策が望まれます。（3/30・西畑）

§§<山田池公園の春>家内に花見をといわれて、駐車場完備の山田池公園へ。サクラはほぼ満開、パーベキュー広場はごった返し、人々は天下泰平のわが世の春を楽しんでいました。弁当を食べている近くの細い流れの池にいたダイサギは思いっきり首を伸ばして何かを見つめていましたが、それが何かはわかりませんでした。採餌中のカルガモの嘴、正面から見て、その大きさにはびっくりポンでした。（4/2・平）

§§<フクロウの死体>今日、フクロウの死体を見ました。場所は枚方津田高校の中庭です。近くに行ったついでに久しぶりに友人の顔を見に行ったら、中庭の端、廊下のすぐ近くの壁の下に鳥の死骸があったので、確認に行くとフクロウでした。窓ガラスに当たって落ちたのではないかと思います。まだ腐っていない新鮮な感じでしたが、少し傷んでいたのも他の動物に死後かじられたのではないかと。学校の職員はまだだれも気付いていないようでした(春休み中のためか)。それにしても藤阪までどこから飛んできたもののでしょうか。まだ若い個体のように思いましたがよくはわかりません。（4/6・田中）

§§<フクロウの死体>珍しいフクロウの死体、きれいな個体でしたら欲しかったですね。滅多にお目にかかれぬ動物、標本に欲しかったです。（4/6・西畑）

§§<フクロウの死体>博物館の和田先生にもメールしたところ、標本が欲しかったようで残念がられていました。でも持って帰る方法を思いつかなかったのです。翼の一部をはさみで切り取ってしまったので標本としてはもうだめです。（4/7・田中）

§§<ニホンアナグマ>先日「星田新池の堤防で、タヌキと思ったがちよっと違うように見える」と野鳥の会のメーリングリストに画像添付での投稿がありました。見たらニホンアナグマでした。このニホンアナグマ、大阪府のレッドリストでは準絶滅危惧種に指定されており、かつては生駒山系には生息していないと云われていました。人を化かすというムジナはこのアナグマのことで「同じ穴のムジナ」と云う言葉も、このアナグマが同じ穴で共同生活をするということもあって、生まれた言葉のようです。交野の自然は生きものの生態系が豊かです。（4/7・平）

§§<犬も歩けば>犬は北方系で、寒さに強いはずだが、吾が犬は南方系らしく、やっと冬眠から覚めて今朝 05:30 から動き出しました。星田新池にはまだ、ヨシガモ番いが残っており、カイツブリと泳いでいて、山ではウグイスが張りのある声を響かせていました。例の溝の柵では、未だ幼い虫たちの動きはなく、ただモリチャバネゴキブリの幼生だけが私を待っていてくれたようでした。出会った野鳥＝ヨシガモ、カイツブリ、ウグイス、シロハラ、エナガ、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、（4/9・平）

◎会員異動について（敬称略）

入会：河合真弓（再入会）（大阪市・3/29）

退会：山内茂幸、（家族会員）山内幸子、山内千加子（大阪市・1/15）「北川様の紹介でお世話になっていましたが外出しにくくなってきましたので退会いたします。大変お世話になりありがとう

ございました。皆様によろしくお伝えください。」 渡部壽子（近江八幡市・2/23）

◎編集後記：岡田雅彦さんご逝去、ほんとうに残念でなりません。西畑会長の追悼文の通りですが、私を当会に誘ってくれたのも岡田さんでした。以降自然環境系の活動を続けていますが、常々岡田さんを“自然観察の師匠”と呼んでいます。私が府や市の環境系の仕事をするようになって、一度だけ「俺を越えたな」と言ったことがありました。いやいや師匠には及ぶべくもないです、と返しましたが…。最近、岡田さんのホームページがあるのに気付きました。岡田雅彦 HP：<http://m-okada.jimdo.com/>

当会の会報編集 77 号から引き継いで今号で 96 号、20 号分、足かけ 7 年になります。そろそろマンネリになっているように思います。新しい風を吹かせてほしいと思っています。（本音はしんどいからですが）。編集等について皆さんのご意見ご要望、またお気軽なご投稿をお願いいたします。（太田）

【諸連絡の窓口】 ◇会の代表者・会長：西畑敬一 072-876-8114
 ◇会費の納入・会計に関して：稲原良三 072-892-8507
 ◇会報の投稿・編集に関して：太田理 0743-79-9665 会員交流コーナーなども太田宛メールか郵送で送ってください。 ma36ux75ml@kcn.jp 〒575-0013 四條畷市田原台 7-5-2

北河内自然愛好会 年会費 1000 円 郵便振替 00970-4-103735

目 次

北河内自然愛好会 2016 年総会-----1
 第 372 回例会「鶴見緑地野鳥観察」雨天中止-----2
 第 373 回例会「野草を食べる—山田池公園」北川ちえこ----- 2
 第 374 回例会「下田原の里山・里山一斉調査」太田 理----- 3
 「日本画の大家、岡田雅彦さん逝く」追悼文 西畑敬一-----4
 会員交流コーナー----- 5
 会員異動、編集後記-----7
 例会案内-----別刷
 カラーグラビア版-----別刷

想ひ 三人の日本画展
 白井 泉 / 岡田雅彦 / 高谷宣孝

2016.4/25(月)～4/30(土) 12:00～18:30
 【最終日16:00まで】

● JR「大阪駅」南へ約15分
 ● JR東西線「北新地駅」(東出口) 東へ約10分
 ● 地下鉄・京阪「淀屋橋駅」(①出口) 北へ約8分
 ● 地下鉄「南森町駅」西へ約12分

ギャラリー菊
 〒530-0047
 大阪市北区西天満4-9-2 西天満ビル1F
 TEL/FAX: 06-6314-0907
 E-mail: gallerykiku@gmail.com



フタリシズカ

ご案内：岡田雅彦さんたち 3 人展が 4-25～30、12：00～18：00(最終日は 16：00 まで)大阪市北区・ギャラリー菊で開催されます。（お問い合わせ：太田まで）
 (案内葉書はカラーグラビア版に掲載)

岡田雅彦氏画「フタリシズカ」